令和８年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

商　　業

受験番号		氏名	

注　意　事　項

1　「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。

2　問題は、１ページから９ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。

3　解答は、すべて解答用紙に記入してください。

4　「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。

5　退席の指示があるまで、その場でお待ちください。

6　この問題用紙は、持ち帰ってください。

copyright2025_kyosai-guild.jp

1　「高等学校学習指導要領」（平成 30 年３月告示）では、教科「商業」科目「課題研究」について、次のように示されている。後の(1)～(3)の問いに答えなさい。

第２　課題研究

１　目　標

商業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，ビジネスを通じ，地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う（ ① ）として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 商業の各分野について（ ② ）に即して体系的・系統的に理解するとともに，相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。

(2) ビジネスに関する課題を発見し，ビジネスに携わる者として解決策を探究し，（ ③ ）な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。

(3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む（ ④ ）を養う。

２　内　容

１に示す資質・能力を身に付けることができるよう，次の〔指導項目〕を指導する。

〔指導項目〕

(1) 調査，研究，（ ⑤ ）

(2) (a) 作品制作

(3) 産業現場等における（ ⑥ ）

(4) 職業資格の取得

３　内容の取扱い

(1) 内容を取り扱う際には，次の事項に配慮するものとする。

ア　生徒の興味・関心，進路希望等に応じて，〔指導項目〕の(1)から(4)までの中から，個人又はグループで商業の各分野に関する適切な課題を設定し，主体的かつ協働的に取り組む学習活動を通して，専門的な知識，技術などの深化・（ ⑦ ）を図り，ビジネスに関する課題の解決に取り組むことができるようにすること。なお，課題については，(1)から(4)までの２項目以上にまたがるものを設定することができること。

イ　課題研究の成果について（ ⑧ ）する機会を設けるようにすること。

ウ　〔指導項目〕の(4)については，(b) 職業資格に関して探究する学習活動を取り入れるよう留意して指導すること。

(1)　（ ① ）～（ ⑧ ）に当てはまる語句を答えよ。

(2)　下線部（a）について、商業の各分野ではそれぞれどのような作品制作が考えられるか。「マーケティング分野」、「マネジメント分野」、「会計分野」、「ビジネス情報分野」のうちから分野を２つ選び、それぞれ答えよ。

(3)　下線部（b）について、具体的にどのようなことに留意した指導が考えられるか答えよ。

2　「高等学校学習指導要領解説商業編」（平成 30 年７月）第３章「各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」に関する次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1)　教科「商業」における原則履修科目は、「課題研究」以外に何があるか科目名を答えよ。

(2)　専門学科における専門教科・科目の最低必修単位数を答えよ。また、商業に関する学科においては、上記の単位数の中に外国語に属する科目の単位を5単位まで含めることができるが、この規定を活用する際には、どのようなことに留意すべきか答えよ。

copyright2025_kyosai-guild.jp

3　次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 10mにつき¥800の商品を300m仕入れ、仕入諸掛¥500を支払った。仕入原価はいくらか答えよ。

(2) ４月５日から７月２日までは何日間か答えよ。（両端入れ）

(3) 配当金が１株につき年¥45.00、投資したときの株価（時価）が¥3,000 の株式の利回りは何パーセントか答えよ。

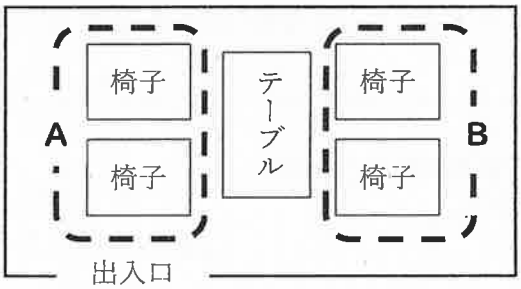
(4) 「手形の割引」とはどのようなことか説明せよ。

4　次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 物と物との関係において、ある物が他の物をうみ出した場合に、うみ出す側の物を元物という。うみ出された側の物を漢字２文字で何というか答えよ。

(2) 顧客が製品やサービスから得ることができる様々な便益のことをカタカナで何というか答えよ。

(3) 応対に関するビジネスマナーにおける応接室での席次について、次の図のような配置の場合、一般的に来客側が座るのはA、Bどちらか答えよ。また、その理由について、「出入口」「上座」「下座」という言葉を用いて説明せよ。なお、椅子の種類はいずれも同じである。



図

copyright2025_kyosai-guild.jp

5　次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1)　今月の売上製品原価月報は次の資料のとおりであった。このときの仕訳をせよ。ただし、後の勘定科目の中から最も適当なものを使用すること。

【資　　料】

売上製品原価月報　　No. 358

令和○年 11 月分　　（単位：円）

売上伝票番号	品名および規格	摘　　要	数　　量	単　　価	金　　額
＃101	サイドテーブル	A商会	15	12,000	180,000
＃102	ローテーブル	B物産	20	39,000	780,000
＃103	ダイニングテーブル	C商事	35	50,000	1,750,000
				合　　計	2,710,000

【勘定科目】

仕掛品　　売上原価　　製品　　売上　　売掛金

(2)　次の資料から、後の製造原価報告書（直接材料費・直接労務費・直接経費・製造間接費に区分して記載する形式）、損益計算書（一部）及び貸借対照表（一部）の（ ア ）～（ カ ）に当てはまる金額を答えよ。なお、会計期間は令和○1 年 4 月 1 日から令和○2 年 3 月 31 日までとする。

【資　　料】

① 材料費
期首棚卸高 ¥5,000　当期仕入高 ¥70,000　期末棚卸高 ¥3,000
なお、材料消費高のうち¥50,000 は直接費である。

② 労務費
賃　　金 ¥68,000　給　　料 ¥12,000
なお、賃金は全額直接費である。

③ 経　費
外注加工賃 ¥8,000　保　険　料 ¥9,000　減価償却費 ¥5,000　電　力　料 ¥3,000
なお、外注加工賃は全額直接費である。

④ 仕掛品
期首棚卸高 ¥30,000　期末棚卸高 ¥20,000

⑤ 製　品
期首棚卸高 ¥50,000　期末棚卸高 ¥40,000

copyright2025_kyosai-guild.jp

製造原価報告書

(単位：円)

令和○1年4月1日から令和○2年3月31日まで

Ⅰ	直接材料費		※※
Ⅱ	直接労務費		※※
Ⅲ	直接経費		※※
Ⅳ	製造間接費		
	1．間接材料費	（　ア　）	
	2．給料	12,000	
	3．保険料	9,000	
	4．減価償却費	5,000	
	5．電力料	3,000	※※
	当期製造費用		（　イ　）
	期首仕掛品棚卸高		※※
	合計		※※
	期末仕掛品棚卸高		※※
	当期製品製造原価		※※

損益計算書(一部)

(単位：円)

令和○1年4月1日から令和○2年3月31日まで

：		：	
Ⅱ	売上原価		
	1．期首製品棚卸高	※※	
	2．当期製品製造原価	（　ウ　）	
	合計	※※	
	3．期末製品棚卸高	※※	（　エ　）
	：	：	

貸借対照表(一部)

(単位：円)

令和○2年3月31日

資産の部

Ⅰ	流動資産		
	：	：	
	5．製品	（　オ　）	
	6．材料	（　カ　）	
	7．仕掛品	※※	
	：	：	

(注)※※印は金額の表記を省略している。

copyright2025_kyosai-guild.jp

6　次の(1)～(7)の文中の(ア)～(コ)に当てはまる語句を答えなさい。

(1) 資産の勘定は借方に残高が生じるから、貸方の日付欄には決算日、摘要欄には「次期繰越」、金額欄にはその残高を記入する。これを(ア)という。ついで、借方・貸方の各合計額を同じ行に記入して締め切る。次に、借方の日付欄には次期最初の日付、摘要欄には「前期繰越」、金額欄には次期繰越額と同額を記入する。これを(イ)という。

(2) 固定資産の売却・購入などの営業以外の取引にあたり、手形が用いられることがある。この手形は、商品代金の決済のために振り出されるものではない。よって、受取手形勘定や支払手形勘定には記入しないで、(ウ)受取手形勘定または(ウ)支払手形勘定に記入する。

(3) 支払家賃・支払地代や受取家賃・受取利息などの諸勘定のなかには、当期分の費用・収益が発生しているにもかかわらず、現金の収入や支出がないために、記入されていないことがある。このような場合には、決算にあたり、正しい純損益を計算するために、当期の費用・収益の未計上分を計算し、当期の費用・収益に含めなければならない。これを費用・収益の(エ)という。

(4) 企業を運営することを経営といい、経営に必要となる資源は、ヒト、モノ、カネ、(オ)という４つに分類できる。この４つを(カ)という。

(5) 木造家屋から古民家カフェへの改築など、建物に大規模な増築や改築を施すことをカタカナ７文字で(キ)という。

(6) ソフトウェアは、大きく(ク) ソフトウェアと(ケ) ソフトウェアに区分される。(ク) ソフトウェアは、わたしたちがハードウェアを効率よく利用できる状態を整えてくれるソフトウェアであり、基本ソフトウェアとミドルウェアからなる。(ケ) ソフトウェアは、特定の業務（仕事）を処理するために利用するソフトウェアであり、アプリケーションソフトウェアとも呼ばれる。

(7) コンピュータにおいて、決められた処理の流れで問題を解決すること、またはこの手順のことをカタカナ６文字で(コ)という。

copyright2025_kyosai-guild.jp

7　次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1)　本社建物について改良と修繕を行い、工事費¥2,700,000は小切手を振り出して支払った。なお、¥2,100,000は改良による資本的支出、¥600,000は修繕による収益的支出とした。次の①、②の問いに答えよ。

①　「資本的支出」と「収益的支出」の違いについて答えよ。

②　この取引の仕訳をせよ。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当なものを使用すること。

【勘定科目】

当座預金　建物　備品　資本金　減価償却費　修繕費

(2)　次の資料から、後の①、②の問いに答えよ。

【資　　料】

令和〇6年４月１日(期首)において、リース会社からリース物件として備品を調達し、リース期間５年にわたり、毎期末にリース料¥60,000を現金で支払うことにした。この取引は、ファイナンス・リース取引と判定され、当該備品の現金購入価額は¥250,000と見積もられた。減価償却は、定額法　残存価額は零(０)　耐用年数はリース期間とし、記帳方法は間接法とする。

①　取得時におけるリース資産について、利子込み法と利子抜き法（支払利息の配分は定額法による）の金額を答えよ。

②　決算時における減価償却費について、利子込み法と利子抜き法（支払利息の配分は定額法による）の金額を答えよ。

(3)　次の資料から、下線部の処理が終了した時点における満期保有目的債券勘定の残高を答えよ。また、解答欄の（　）の中は、借方残高、貸方残高のいずれかを選んで〇で囲むこと。

【資　　料】

４月１日　満期保有目的で、Ｄ商事株式会社の社債額面¥1,000,000を発行と同時に¥100につき¥98で買い入れ、代金は小切手を振り出して支払った。なお、この社債の償還期限は５年　利率は年２％(利払日９月末と３月末)である。
　また、決算は年１回　３月31日である。
９月30日　上記の社債について、第１回目の利息が普通預金口座に入金された。
３月31日　上記の社債について、第２回目の利息が普通預金口座に入金された。
〃　　決算にあたり、上記の社債を償却原価法によって評価した。

copyright2025_kyosai-guild.jp

8　次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1)　E商店（個人企業　決算年１回　12月31日）の総勘定元帳勘定残高と決算整理事項は、次のとおりであった。損益計算書の（ ア ）～（ ク ）に当てはまる勘定科目や金額を答えよ。

元帳勘定残高　　（単位：千円）

現　　金	¥ 617	当座預金	¥ 1,900	受取手形	¥ 1,400	売掛金	¥ 1,500
貸倒引当金	27	有価証券	1,590	繰越商品	1,080	備　　品	2,400
備品減価償却累計額	1,440	支払手形	900	買掛金	1,070	借入金	500
従業員預り金	234	資本金	6,000	売　　上	15,850	受取手数料	36
仕　　入	11,960	給　　料	2,518	支払家賃	900	保険料	69
消耗品費	123						

決算整理事項

a. 期末商品棚卸高　　¥1,250

b. 貸倒見積高　　受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ１％と見積もり、貸倒引当金を設定する。

c. 備品減価償却高　　取得原価　¥2,400　残存価額は零（０）　耐用年数は５年とし、定額法により計算し、間接法で記帳している。

d. 有価証券評価高　　有価証券は、売買を目的として保有するＦ商事株式会社の株式30株（帳簿価額@¥53）であり、１株につき、¥57に評価替えする。

e. 消耗品未使用高　　¥31

f. 家賃前払高　　支払家賃のうち¥360は、本年10月から翌年３月分までを支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。

g. 利息未払高　　¥5

損益計算書

E商店　　令和○年１月１日から令和○年12月31日まで　　（単位：千円）

費　用	金　額	収　益	金　額
期首商品棚卸高	1,080	売上高	※※
仕入高	11,960	期末商品棚卸高	（ア）
売上総利益	（イ）		
	17,100		17,100
給料	2,518	売上総利益	※※
貸倒引当金繰入	（ウ）	受取手数料	（キ）
（エ）	※※	（ク）	※※
支払家賃	（オ）		
保険料	69		
（カ）	92		
支払利息	5		
当期純利益	330		
	4,216		4,216

(注)※※印は、金額の表記を省略している。

(2)　商品売買の記帳方法に３分法を採用している場合、決算日における売上原価を算出する際に、勘定口座（T字型）を用いて説明するための板書例を作成せよ。ただし、勘定口座は繰越商品勘定および仕入勘定を用いること。

(3)　事業主は事業を始めるため、現金¥2,000,000を元入れした。このときの仕訳をせよ。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当なものを使用すること。

【勘定科目】

現金　当座預金　買掛金　借入金　資本金

copyright2025_kyosai-guild.jp

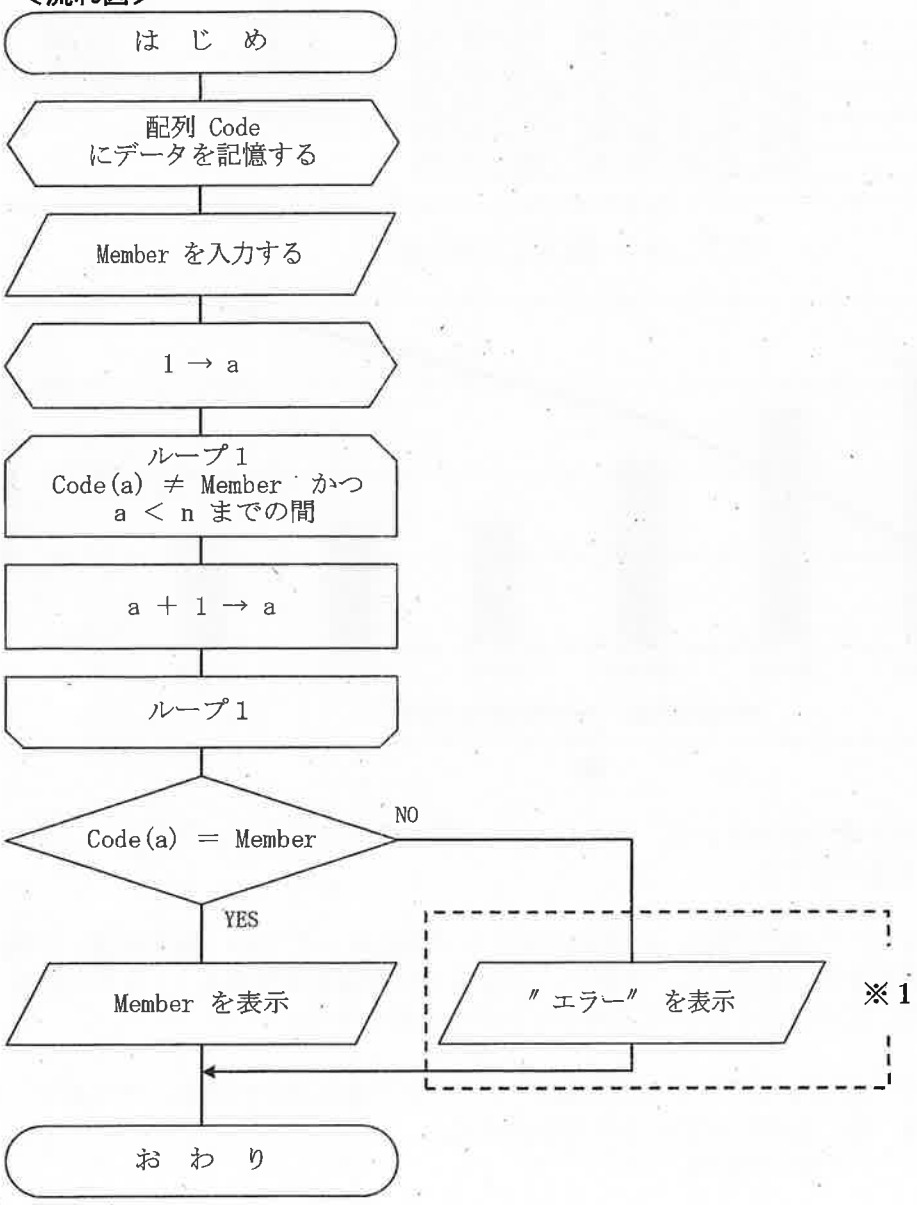
9　表の配列 Code には次の数値データが入力される。表の配列 Code を用いて流れ図の処理を行うとき、後の(1)～(3)の問いに答えなさい。なお、入力する Member の値は 1 ～ 999 の整数とする。

表

配列 Code

(1)	(2)	(3)	(4)	～	(n)
215	114	327	568	～	101

＜流れ図＞



(1) 入力された Member の値が 327 のとき、ループ1の処理を終えた後の a の値を答えよ。

(2) 流れ図の※1の処理を終えたときの a の値を答えよ。

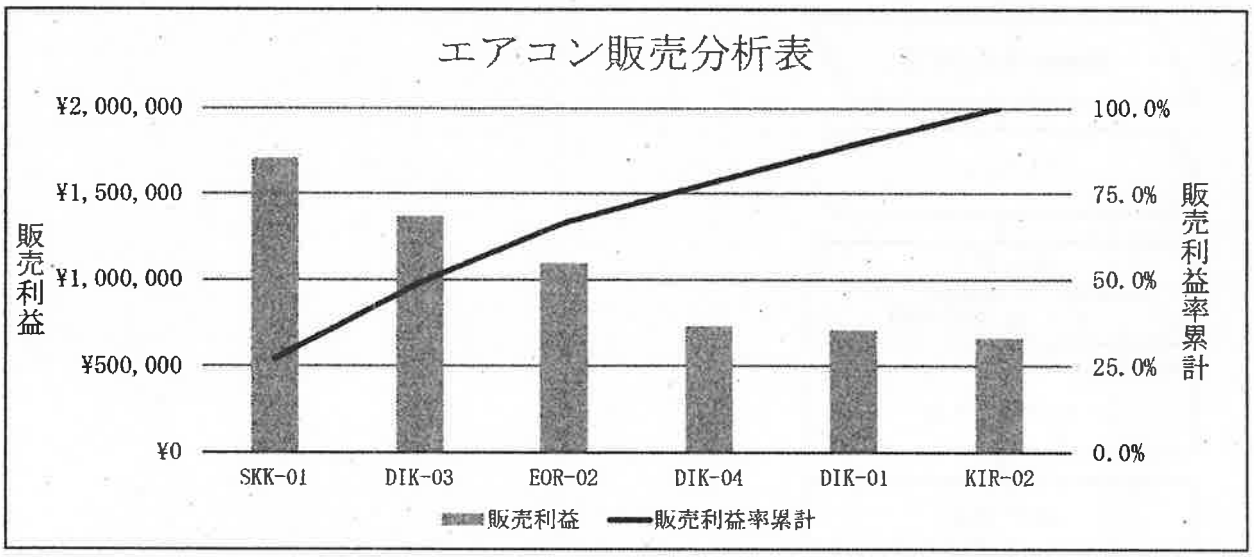
(3) 流れ図では、どのような処理が行われているか説明せよ。

copyright2025_kyosai-guild.jp

10　表計算ソフトウェアを利用して、次の表を基に図を作成する。後の(1)～(5)の問いに答えなさい。

表

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2	エアコン販売分析表							
3								
4	製品名	単価	販売台数(台)	販売金額	販売利益	販売利益率	販売利益率累計	ランク
5	SKK-01	¥37,000	256	¥9,472,000.00	¥1,704,960.00	27.3%	27.3%	※
6	DIK-03	¥50,000	170	¥8,500,000.00	¥1,360,000.00	21.8%	49.1%	※
7	EOR-02	¥40,000	210	¥8,400,000.00	¥1,092,000.00	17.5%	66.6%	※
8	DIK-04	¥55,000	110	¥6,050,000.00	¥726,000.00	11.6%	78.2%	※
9	DIK-01	¥45,000	120	¥5,400,000.00	¥702,000.00	11.2%	89.4%	※
10	KIR-02	¥55,000	100	¥5,500,000.00	¥660,000.00	10.6%	100.0%	※
11		合計	966	¥43,322,000.00	¥6,244,960.00	100.0%		
12		最大	256	¥9,472,000.00	¥1,704,960.00			
13		最小	100	¥5,400,000.00	¥660,000.00			



図

(1)　表の「最小」は各列の最小値を求める。セルC13 に設定する式を答えよ。ただし、この式はセルE13 までコピーするものとする。

(2)　表の「販売利益率」は、「販売利益」の合計に対する「製品名」ごとの「販売利益」の割合を求める。セルF５に設定する式を答えよ。ただし、小数第３位未満を四捨五入し、%で小数第１位までを表示する。なお、この式はセルF10 までコピーするものとする。

(3)　表のセルH５に次の式が設定され、この式がH10 までコピーされているとき、セルH７、H８に表示される値は、A、B、Cのいずれかそれぞれ答えよ。
=IF(G5<=50.0%,”A”,IF(G5<=70.0%,”B”,”C”))

(4)　図のように、大きい順に並んだ「販売利益」を棒グラフ、「販売利益率累計」を折れ線グラフで表した複合グラフを何というか答えよ。

(5)　表と図から、ランクAとランクCの製品について、今後、在庫管理や販売戦略といった観点から、どのようなことが考えられるか答えよ。

copyright2025_kyosai-guild.jp

商　業　解答用紙	2枚中の1	受験番号		氏名		（8年）

1	(1)	①		②		③		④	
		⑤		⑥		⑦		⑧	
	(2)	分野	分野	作品制作					
		分野	分野	作品制作					
	(3)								
2	(1)								
	(2)	単位数	単位	留意点					
3	(1)	¥	(2)	日間	(3)	%			
	(4)								
4	(1)		(2)						
	(3)	座る位置		理由					
5	(1)	借　方			貸　方				
	(2)	ア		イ		ウ			
		エ		オ		カ			
6	(1)～(7)	ア		イ		ウ			
		エ		オ		カ			
		キ		ク		ケ			
		コ							

copyright2025_kyosai-guild.jp

商　業　解答用紙	2枚中の2	受験番号		氏名		（8年）

7

(1) ①

(1) ②

借　方	貸　方

(2) ① 利子込み法 ¥　　利子抜き法 ¥

(2) ② 利子込み法 ¥　　利子抜き法 ¥

(3) 満期保有目的債券 ¥　　（　借方残高　・　貸方残高　）

8

(1)

ア		イ		ウ	
エ		オ		カ	
キ		ク			

(2)

(3)

借　方	貸　方

9

(1)　　(2)

(3)

10

(1)

(2)

(3) H7　　H8　　(4)

(5)

copyright2025_kyosai-guild.jp

以下はあくまでも解答の一例です。

商　業　解答用紙	2枚中の1	受験番号		氏名		（8年）

1	(1)	①	職業人 2点	②	実務 2点	③	科学的 2点	④	態度 2点
		⑤	実験 2点	⑥	実習 2点	⑦	総合化 2点	⑧	発表 2点
	(2)	分野	【マーケティング分野】【マネジメント分野】 分野	作品制作	【マーケティング分野】新商品の企画と開発、広告の制作、商品パッケージのデザイン、商品のディスプレイ、観光ガイドブックの制作 等 【マネジメント分野】消費者の動向を捉え、株式会社の設立と開業を想定した事業計画書及び関連書類の作成　等 4点				
		分野	【会計分野】【ビジネス情報分野】 分野	作品制作	【会計分野】企業の財政状態や経営成績などを分析した資料の作成 等 【ビジネス情報分野】企業活動を改善する情報システムの開発、データベースの構築、企業情報を発信するウェブページの制作　等 4点				
	(3)	商業科に属する科目で学んだ内容に関連した職業資格について、職業資格を取得する意義、職業との関係、職業資格を制度化している目的などを探究する学習活動を取り入れ、職業資格を取得するための学習活動に偏らないようにすること　等　（趣旨が合っていれば正解） 4点							
2	(1)	ビジネス基礎 2点							
	(2)	単位数	25 単位 2点	留意点	商業教育においては外国語が重要であるという趣旨を踏まえるとともに、商業科に属する科目として、ビジネスに必要な外国語などを扱う「ビジネス・コミュニケーション」が設けられていることに留意する。等 2点				
3	(1)	¥24,500 3点	(2)	89日間 3点	(3)	1.5% 3点			
	(4)	手形の所持人が支払期日前に銀行などの金融機関に手形を譲渡して現金化すること。　等 4点							
4	(1)	果実 3点	(2)	ベネフィット 3点					
	(3)	座る位置	B 2点	理由	一般的には、出入口から遠い奥の席が上座、出入口に近い席が下座となり、来客が座るのは上座であるため。　等 2点				
5	(1)	借方		貸方					
		売上原価	2,710,000	製品	2,710,000 3点				
	(2)	ア	22,000 2点	イ	177,000 2点	ウ	187,000 2点		
		エ	197,000 2点	オ	40,000 2点	カ	3,000 2点		
6	(1)〜(7)	ア	繰越記入 3点	イ	開始記入 3点	ウ	営業外 3点		
		エ	見越し 3点	オ	情報 3点	カ	経営資源 3点		
		キ	リノベーション 3点	ク	システム 3点	ケ	応用 3点		
		コ	アルゴリズム 3点						

copyright2025_kyosai-guild.jp

商　業　解答用紙	２枚中の２	受験番号		氏名		（８年）

7

(1) ①　有形固定資産について生じる支出のうち、資産の取得原価に加える支出を資本的支出という。一方で、支出をした期の費用として処理する支出を収益的支出という。等　4点

(1) ②

借　方		貸　方	
建物	2,100,000	当座預金	2,700,000
修繕費	600,000		

4点

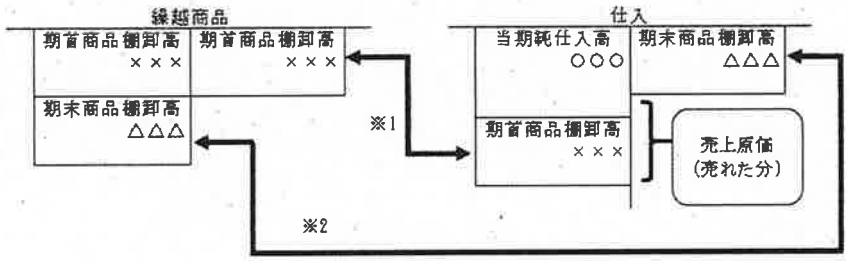
(2)	①	利子込み法	¥300,000　2点	利子抜き法	¥250,000	2点
(2)	②	利子込み法	¥60,000　2点	利子抜き法	¥50,000	2点
(3)	満期保有目的債券	¥984,000	（借方残高 ・ 貸方残高）			2点

8

(1)

ア	1,250　2点	イ	4,060　2点	ウ	2　2点
エ	減価償却費　2点	オ	720　2点	カ	消耗品費　2点
キ	36　2点	ク	有価証券評価益　2点		

(2)



※1（借）　仕入　×××　（貸）　繰越商品　×××

※2（借）　繰越商品　△△△　（貸）　仕入　△△△

期首商品棚卸高 ××× ＋ 当期純仕入高 ○○○ － 期末商品棚卸高 △△△ ＝ 売上原価

7点

(3)

借　方		貸　方	
現金	2,000,000	資本金	2,000,000

3点

9

(1) 3　6点　(2) n　6点

(3)　Memberに数値が入力されたときに配列を探索し、同じ数値が見つかった場合は、Memberを表示する。見つからなかった場合は、エラーを表示する。 等　6点

10

(1) =MIN(C5:C10)　6点

(2) =ROUND(E5/E$11,3)　又は　=ROUND(E5/$E$11,3)　6点

(3) H７　B　6点　H８　C　6点　(4) パレート図　6点

(5)　ランクＡの製品は欠品による機会損失を防ぐため、適切な在庫管理体制が必要である。また、ランクＣの製品については、販売活動の工夫や別の製品への変更などを検討していく必要がある。等　6点

copyright2025_kyosai-guild.jp